

11月26日

UNICEF や JICA などの国際機関から教育専門家と教育省の政策関係者を迎え、「カンボジアにおける教育開発と連携の実践—ステークホルダーの視点から見た成果と課題の探求」をテーマに高度なディスカッションが行われました。具体的には、UNICEF カンボジア事務所の教育チーフである服部浩幸氏と、JICA 教育開発アドバイザーの松田徳子氏が研修員たちと、各課題に焦点を当てたディスカッションを実施しました。この意見交換は、活発かつ深みのある内容となり、大変有意義な場となりました。最後に、教育開発連携の観点から、カンボジアの教育プロジェクトの成果を総括し、今後優先すべき課題について建設的な議論が交わされました。



午後は、クローリングセレモニーが盛大に執り行われ、カンボジア教育・青少年・スポーツ省計画局の H.E. Lim Sothea 局長、JICA 中国センターの後藤隆寛課長、そして広島大学の吉田和浩教授から、17 名の研修員一人一人に修了証が授与されました。研修員たちは、これまでの学びと成果を振り返り、感謝の気持ちと共に自らの研修成果を発表しました。その後、広島大学からの心温まる閉会の挨拶をもって、研修は無事に幕を閉じました。

